

3 固定資産税の現況調査

固定資産税の現況調査は、9月から翌年1月にかけて行っていますが、その調査を補捉するため、1月1日現在の航空写真から得られた情報を基にした再調査が3月から4月に掛けて行われます。

4 AIの活用により縮減される作業時間の推移

再調査に要する作業は、調査図の更新等の準備のほか、委託による航空写真の判読結果を市職員が机上で再確認する作業があります。さらに、机上で判断できないものは、市職員が現地を調査することで判断します。これら一連の作業には、概ね600時間近くを要しており、市税事務所への統合により、現況調査に係る時間が更に3倍強増えることが見込まれています。

しかし、AIの活用により上記作業のうち、調査図の更新等に要する準備作業と航空写真による照合作業に係る時間が大幅に縮減されます。

さらに、再調査を必要とするポイント数は、AIによる異動判読の精度向上により、概ね5分の1に絞られる見込みです。

